



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しらくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.30
2014.1.20発行

ニュースレター



長野県立こども病院だより第30号 発行日：2014年1月20日 発行者：原田 順和
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<http://nagano-child.jp/> kodomo@pref-nagano-hosp.jp



Contents

新年のご挨拶	1
平成25年度小児等在宅医療 連携拠点事業を実施中	2
地域連携懇話会を開催しました！	3
在宅医療相談外来を開設しました！	3
新生児病棟の紹介	3
エントランスホール	5
クリスマス会を開催しました	5
栄養科より	6
ありがとうございました	6
akshu	7
すくすく日和・編集後記	7



撮影：大畑 淳

長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、
質が高く、安全な医療を行います。

新年のご挨拶

長野県立こども病院 病院長 原田 順和



皆様、あけましておめでとうございます。平成26年を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、東日本大震災などで混乱した世の中から、少しは落ち着いた社会になるかと期待が膨らみましたが、最近になってみると、残念ながら

なかなかそう簡単にはよい方向に向かうわけではなさそうです。

長野県立こども病院では、“私たちは未来を担うこども達のために、質が高く安全な医療を行います”という病院理念の実現を目指し、努力を継続しています。

昨年5月25日に行われた長野県立こども病院創立20周年記念事業では、多くの皆様にお集まりいただき慰霊祭、記念式典、祝賀会を執り行い、併せて記念DVDの作成、記念特別テレビ番組の放映、新聞への特集記事の連載などが行われました。これを機会に、こども病院職員一同、気持ちを新たにして、次の10年に新たな一歩を踏み出しました。

さて最近では、小児重症患者の治療にあたる小児集中治療室（PICU）の病床が慢性的に不足し、救急患者や定期

手術の術後管理の受け入れが困難となり、その結果救急患者を信州大学病院に搬送したり、定期手術を延期せざるを得ないような状況がたびたび生じるようになってきました。地域の総合病院では対応することのできない状況が多く生じてきていることの表れかとも思いますが、こども病院に重症患者さんが集中するようになってきました。このため、小児集中治療室が中心になって、病床の増床ができるよう、計画を立てています。計画の実現には今しばらく時間がかかることと思いますが、それまでの間、昨年始動した第4病棟のPICU後方病床を活用して、この事態をなんとか乗り切りたいと考えています。

また近年、力をいれている在宅医療の分野では、厚労省から平成25年度小児等在宅医療連携拠点事業の指定を受け、長野県から事業を委託される形で、作業を続けています。この分野は、高齢者の在宅医療に比べ不完全であり、まだまだ制度を作り上げていかなければいけない分野ですので、長野県立こども病院が全国の先頭に立って、情報を発信していくことができるとよいと思っています。

この一年、院内に設けられた提案箱に入れられた皆様からの声をお聞きしながら、どうしたら“患者と家族に優しい病院”になれるか、日々思いを巡らせています。お子さんに付き添いをしている家族の方々からの切実な思いのこもったご提案を拝見しております。近日中には、まず手始

めに一階にある家族ラウンジのアメニティーを刷新する予定にしています。

今年の干支は午ということですが、長野県立こども病院は、長野県およびその周囲の地域の小児周産期医療の最後

の砦としての機能を果たすべく、より一層の飛躍の年になるよう力を尽くすつもりです。皆様方のご支援をお願いするとともに、この一年のご健康と、ご活躍をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成25年度小児等在宅医療連携拠点事業を実施中

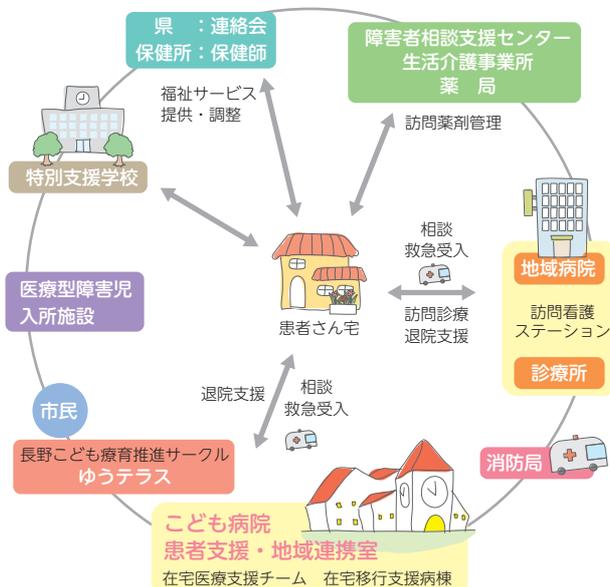
副院長兼患者支援・地域連携室長 藤岡 文夫

厚生労働省は、平成23年度、24年度の在宅医療連携拠点事業に続き、平成25年度は小児等在宅医療連携拠点事業を立ち上げました。全国で長野県を含む8都県の事業が採択されました。当院が県からの委託を受け、昨年引き続き小児在宅医療推進事業を行っています。そのコンセプトは、「こども病院が地域へ」です。訪問支援、交流研修等を行うことで皆様と「顔の見える多職種連携の輪(図1)」を構築し、支援させていただきながら、教えていただきながら前進したいと思います。

昨年度まで行われた長期入院児等支援事業の調査によれば、長野県で人工呼吸器を装着した児は100名前後で、そのうち約80%の方は自宅または施設で暮らしておられます。ご家族や支援する方々は小児の濃厚な医療的ケアや急変時の対応について大きな不安を抱いて日々生活し、介護されています。これらの不安を解消し、お子さんとご家族が安心して自宅で、あるいは地域で暮らしていけるよう事業を計画、実施しています(表1)。

理想的な、そして持続性のある小児在宅医療体制が1年、2年で構築されるとは思っておりません。障害児者入所施設の方々、他職種の方々のご意見を拝聴しながら、長野県健康福祉部とも連携して、より良い方向へ進みたいと考えています。本年もご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

(図1) 小児在宅医療連携



(表1) 平成25年度小児等在宅医療拠点事業概要

1. 地域の医療・福祉資源の把握と活用

- ① 平成24年度資源マップの更新、更なる資源開拓

2. 地域の小児等への在宅医療資源の拡充と専門機関との連携

- ① 研修会の企画：各職種専門分野向け研修
- ② 交流研修：こども病院スタッフの他事業所での研修
- ③ 訪問支援：医師・リハビリ・看護師・保健師・栄養士チームの派遣
特別支援学校、地域病院や診療所など訪問支援を希望する施設
- ④ 地域小児在宅医療拠点病院の確立とネットワーク化
定期的な転院ケース症例検討会、意見交換会
- ⑤ 関連団体との連携会議
医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・福祉士会など

3. 情報共有の促進

- ① インターネット利用電子手帳の開発と運用
- ② 救急搬送時に使用する救急情報提供カードの運用
- ③ インターネットオンライン会議の促進

4. 地域の福祉・行政関係者との連携促進

- ① 障害者相談支援専門員との連携
＝小児在宅分野での医療と福祉の連携深化
- ② 地域保健師と情報共有

5. 患者・家族の個別支援

- ① 在宅医療相談外来の開拓
- ② 長野こども療育推進サークル「ゆうテラス」が行う個別相談
- ③ 災害個別マニュアルの作成支援
- ④ 在宅移行する患者家族のための保健福祉ガイドブック作成
- ⑤ お子様を亡くされた方のケア：「ちいさな星の会」の開催

6. 患者・家族や学校関係者等への理解促進・負担軽減

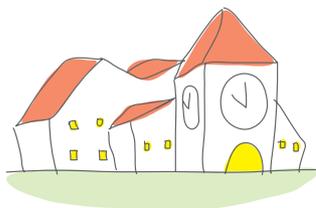
- ① 在宅支援病棟の運営拡張
(評価・検査入院に対応するための増床)
- ② 在宅医療ケアマニュアルの作成
- ③ インターネットオンライン会議の促進
- ④ 研修会企画

7. 患者家族連携、社会認知の促進

- ① 各地域の患者家族会との情報交換
- ② 重い障害を持つ子の社会認知促進
患者会との協働によるシンポジウム開催
- ③ 長野こども療育推進サークル「ゆうテラス」が行う情報発信

地域連携懇話会を 開催しました！

11月28日（木）に岡谷市のあいとぴあ（長野県男女共同参画センター）で諏訪圏域の医療・福祉・教育・行政・消防関係者を対象とした地域連携懇話会を開催しました。54名の方にお越しいただき、社会福祉法人この街福祉会この街支援センター長兼相談支援専門員井上純一氏の講演やその後のグループワークを通して、地域の救急体制や在宅療育の支援等について様々なご意見を頂きました。



在宅医療相談外来を開設しました！

相談日：毎月第2・第4火曜日 13時～15時

●電話相談（専用ダイヤル：0263-73-5338）

●対面相談（こども病院 医療相談室にて）



対象者：どなたでも相談できます

対応職員：患者支援・地域連携室
看護師／保健師／MSW

※予約制ではないのでお待たせしてしまう場合があります。ご迷惑をおかけいたします。

新生児病棟の紹介

当病棟は、長野県の総合周産期母子医療センターの新生児病棟として、出生前から退院後の発達フォローまでの広い範囲での医療を提供しています。新生児病棟には、NICUとGCUの2ユニットから構成されています。NICU（Neonatal Intensive Care Unit）は24床あり、内科的、外科的治療を目的とする赤ちゃんとその家族に対して、急性期の管理・ケアを主に行っています。GCU（Growing Care Unit）は18床あり、NICUで治療を受け、状態が安定してきた赤ちゃんに対して、引き続きケアを行っています。スタッフは、医師12名、看護師67名、保育士6名、看護助手3名、病棟クラーク1名という、院内の部署の中





(写真1)

で一番の大所帯です。人数こそ多いですが、ここぞというときにもチーム力を十分に発揮できるスタッフの揃った、まとまりのある職場です。どの職種のスタッフも、『長野県のあかちゃんのために！』という使命を胸に、それぞれの役割に励んでいます。

ここで、現在取り組んでいる、新生児病棟のトピックスを3点紹介したいと思います。

1. 「たいせつなきみ」サイトの立ち上げ：塩尻市内の企業や住民の皆様のご協力により、1500g未満で生まれた県内の低出生体重児の支援を目的としたインターネットのコミュニティサイトが開設しました（写真1）。低出生体重児の長期的支援及び、育児に不安のあるご家族の交流の場になることを期待し、運用していく予定です。

2. 保育士によるご家族へのケアの実施：新生児病棟での保育士の活動は、入院するあかちゃんの保育だけではなく、ご家族とタッチケアや制作なども行なっています。イベントの際には、あかちゃんのご家族の手形や足型をイラストにして、記念にお渡ししています。写真2はあかちゃんと

ご兄弟の手形と足型を元に、お母さんが保育士と作成されたものです。あかちゃんの成長やご家族の記念に残るとい、嬉しい感想をいただいています。

3. 新生児病棟退院支援・調整看護師の配属：今年の10月より、退院支援・調整看護師として、外来経験のある熟練した看護師を配置しました。今後は、ご家族が安心してあかちゃんと在宅で生活できるように、支援体制を充実させいく予定です。

今後も『長野県のあかちゃんのために！』、病棟スタッフ一同、努力していきたいと思っています。



(写真2)

エントランスホール



12月14日（日）にエントランスホールの窓ガラスに飛散防止を兼ねた省エネフィルムを貼りました。皆様にはご迷惑をおかけいたしました。この省エネフィルム効果により年間5万円程度の光熱費削減が見込まれます。

エントランスホールの感じも幾分変わりましたよ。

クリスマス会を開催しました

12月20日（金）にクリスマス会を開催しました。

院内学級の子どもたちと先生方による、ジブリ映画の名曲「君をのせて」とドキュメンタリー番組曲である「生命のいぶぎ」の演奏に、参加された患者さんや家族の方は楽しそうに聞き入っていました。その後は、こども病院PRキャラクター「ちるくま」も登場する劇で、題名も「ちるくまんとおおきななぐ」。なかなか抜けない大きななぐを巡り、森の動物達や院長、看護部長も巻き込んだ大活劇（笑）に会場からも笑いと喝采が湧きおこりました。

最後は、クリスマスには欠かせない「ジングルベル」「あわてんぼうのサンタクロース」を会場全体で大合唱♪クリスマスが待ち遠しい子どもたちの笑顔で溢れる会となりました。



栄養科より

今回はこども病院でお出した、クリスマスからお正月にかけての献立の様子を紹介します。

すき焼き
ロブスターグラタン
おたふく豆
サラダ
メロン



手巻き寿司
かぼちゃの
そばろあんかけ
汁物



エビピラフ
ローストチキン
星ポテト
カナッペ
ツリーサラダ
いちご
コンソメスープ



年越しそば
天ぷら
あえ物
りんご



お雑煮
なます
おせち盛り合わせ



ありがとうございました

今年度も皆様からの温かいお心により、たくさんの寄付をいただきました。

深く感謝申し上げます、ここにご紹介させていただきます。

寄付日	寄付者名
5月15日	タリーズコーヒージャパン
5月20日	小柳 様
6月 4日	小椋 様
6月 4日	佐藤 様
6月 4日	柳沢 様
7月 8日	信州すずらんの会
8月 6日	キャピーインターナショナル
8月27日	電気連合 長野地方協議会
9月11日	信州すずらんの会
9月20日	松田 様
9月25日	宮澤 様
10月 1日	アフラック
10月10日	辰野町役場
10月24日	有本 様
10月31日	須江 様
11月12日	松本ゾンタクラブ
12月 6日	布山 様
12月 9日	アオキ 様
12月16日	海沼 様
12月16日	坂本 様
12月19日	サンタ・プロジェクト・まつもと
12月20日	茅野高校福祉コース2年生
12月24日	a k s h u
12月25日	カービングルーム ホワイト・ローズ 小林 様

行事食は、皆さんに喜んでもらえるよう、一生懸命作っています。

お正月気分、味わっていただけただけでしょうか。



平成24年に、知人の体験談を聞き、仲間8人でakshuというグループを作り、小児がん、難病の子供、家族を支援したいという有志現在9人で活動しているグループです。

昨年10月に佐久市で同グループが開催する「ダンス・音楽イベント」で集まった募金を寄付の購入費に充て、当病院・福祉施設などへ寄付を送られています。

長野県立こども病院 院内研修会予定

「救急室における被虐待児対応」

講師：東京都立小児医療センター

救命救急科 井上信明 先生

日時：3月14日(金) 17時30分～19時00分

場所：南棟2階会議室

研修主催者：張慶哲(後期研修医チーフレジデント)

*後期研修医対象ですが、院内外の医療関係者の参加も歓迎します。

編集後記

いよいよ平成26年(2014年)が始まりました。本年も「しろくまニュースレター」は定期的に発行してまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。と、型どおりの挨拶を書いてはみたものの、本号がお手元に届く頃は「年が明けたと思ったら、もうこんな時期か…」と感じられているかもしれませんね。タイムリーな話題を同時進行で提供することはなかなか難しいですが、できる限り旬な情報を発信していくつもりです。ご期待ください!

小木曾

長野県立こども病院 外来医師担当表

平成26年1月1日現在

	外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
南棟外来	整形外科	藤岡 文夫 (AM)	高橋 淳 (PM) ^{※1}	松原 光宏 藤岡 文夫 加藤 博之 ^{※2}	松原 光宏 (AM)	松原 光宏
	小児外科		畑田 智子 (AM) 好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	畑田 智子 (AM) 好沢 克 (PM)	
	眼 科	北澤 憲孝	視能訓練	視能訓練	視能訓練 (AM) 北原 博 (1/9)	北澤 憲孝
	総合小児科	南 希成 (AM) ^{※3} 笠井 正志 (PM)	樋口 司	樋口 司 (PM) 南 希成 (PM) ^{※4}	南 希成 (AM) 笠井 正志 (PM) ^{※3}	樋口 司 (AM)
	血液腫瘍免疫科 <small>免疫・アレルギー外来</small>			小林 法元 (AM)	坂下 一夫 (AM)	
	血液腫瘍免疫科 <small>血液・腫瘍外来</small>	坂下 一夫 塩原 正明 (AM)	坂下 一夫 (AM)	塩原 正明 (AM)		
	総合小児科 <small>内分泌・代謝外来</small>		竹内 浩一 (AM)		竹内 浩一 (AM)	竹内 浩一 (AM)
	循環器科 <small>(内科・外科)</small>	坂本 貴彦 (AM) 梅津健太郎 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 (内科)	原田 順和 (AM) 坂本 貴彦 梅津健太郎 (AM) (外科)	安河内 聰 田澤 星一 (内科)	瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)
リハビリテーション科					笛木 昇 (AM)	
北棟外来	脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
	泌尿器科 <small>皮膚・排泄ケア外来</small>	市野みどり		市野みどり		市野みどり
	神経小児科	平林 伸一 ^{※5} 福山 哲広	平林 伸一 ^{※5} 福山 哲広 (PM) 奥野 慈雨	平林 伸一 奥野 慈雨 (AM)	奥野 慈雨 (AM)	平林 伸一 福山 哲広
	小児外科					高見澤 滋 ^{※6}
	新生児科	中村 秀勝 (AM) ^{※7} 小田 新 (AM) ^{※7} 中村 友彦 (PM)	小久保雅代	廣間 武彦	廣間 武彦	小久保雅代
	形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒	安永 能周 (AM) ^{※8}	野口 昌彦 藤田 研也 永井 史緒	野口 昌彦 (PM) 丸山百合子	野口 昌彦 (PM) 杠 俊介 (PM) 藤田 研也 (PM) 永井 史緒 (PM)
	総合小児科 <small>内分泌・代謝外来</small>		竹内 浩一 (PM)		竹内 浩一 (PM)	
	麻酔科	大畑 淳 (AM)				大畑 淳 (AM)
	皮膚科				芦田 敦子 (AM)	
	精神科 <small>こころの診療科</small>				原田 謙 (PM) ^{※9}	
	遺伝科	古庄 知己 ^{※10}	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子 (AM) 泉 幸佑 (PM) ^{※11}	西 恵理子 (AM)
	耳鼻咽喉科		下記 ^{※12}		出浦美智恵	
	循環器小児科 <small>胎児心臓外来</small>		田澤 星一	松井 彦郎	瀧間 浄宏	安河内 聰
	産 科	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代
リハビリテーション科	笛木 昇	関 千夏 (AM) 笛木 昇 (PM)	笛木 昇	原田由紀子 三澤 由佳	五味 優子 (AM) 笛木 昇 (PM)	

- ※1 整形外科の高橋医師は第2、4週の診察となります。
- ※2 整形外科の加藤医師は奇数月第3週のみ診察となります。
- ※3 月曜日の南医師と木曜日の笠井医師は、午後4時～5時の間だけ予防接種相談外来になります。
- ※4 南医師は、ワクチン接種になります。
- ※5 月・火曜日の午前 平林医師は発達障害専門外来です。
- ※6 胃瘻・中心静脈栄養外来です。
- ※7 中村(秀)医師は、第1、3、5週、小田医師は第2、4週の診察となります。
- ※8 火曜日の安永医師は第4週の午前のみ診察となります。
- ※9 精神科(こころの診療科) 外来の初診は、受付していません。
- ※10 遺伝科の古庄医師は午前11時からの診察となります。
- ※11 遺伝科の泉医師は第2、4週の診察となります。
- ※12 耳鼻咽喉科 午後 週によって、医師が異なります。

- ★診察時間：午前9時～午後4時
- ★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始
- ★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話
0263-73-5300